

令和7年度 岡谷市教育委員会基本方針（生涯学習）

■ 『生涯学習スローガン』

歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり

おかや子育て憲章と第3期岡谷市教育大綱及び岡谷市学びの紡ぎ応援プラン（第7次岡谷市生涯学習推進計画）に掲げた教育理念のもと、生涯にわたり学び続け、地域に根ざす『ひと、もの、こと、ところ』の資源を活用しながら、郷土を愛する心を醸成し、未来を切り拓く力を養います。

「岡谷のひとづくり」を推進するため、生涯学習分野におけるめざすひとづくりの姿「人間像」を、『歴史と文化を礎に、自ら学び続け、地域で輝くひとづくり』とし、次の7つのポイントに重点的に取り組みます。



■ 「生涯学習 7つの重点」

1 生涯を通じた学びの推進

年齢、性別、国籍、障がいの有無、家庭環境などにかかわらず、誰一人取り残されことなく生涯学習を継続させることができるように、市民の学習意欲の促進と市民ニーズや時代の変化に応じた講座を実施することに努めます。また、生涯学習の指導者の発掘、確保に努めるとともに、学習グループや各種団体の活動を支援します。

2 家庭・地域の教育力向上

子どもたちが人間性豊かに育つことができるよう、家庭、学校、地域と連携して、保護者を応援するための学習講座の開催や、親同士が交流できる機会を提供し、家庭と地域の教育力向上の支援に努めます。

3 青少年の健全育成

家庭、学校、地域と連携・協力し、ふるさとに愛着や誇りを持ち、心豊かに成長できる環境づくりや積極的に社会に参画する子どもたちを育成するため、多様な体験活動や団体活動の機会を提供します。

4 読書の推進

子どもから大人まで広く市民が読書に親しみの持てる環境を整えます。特に、子どもたちの読書習慣の定着を図るため、市立岡谷図書館と学校等施設との連携や、ボランティア団体などとの協働により、子どもの発達段階に応じた読書の機会提供と普及・啓発に取り組みます。

5 美術考古館の活用

地元出身作家による芸術作品や市内遺跡から出土した土器、土偶などを中心とする考古資料の美術考古館での展示を通じて、美術と考古双方の魅力を SNS などでも活用し、広く市民に発信します。また、学校教育での活用や商店街との連携による賑わいの創出、市民の作品展示や幅広い年齢層が対象のイベント開催など、市民が気軽に立ち寄り、交流ができる学びの場を提供します。

6 文化財の保護・活用

文化財の調査・収集および保存・保護に努めるとともに、市内に残る近代化産業遺産群や日本遺産を活用し、地域の魅力の情報発信に努めます。

7 歴史の伝承

本市発展の歴史を市民共有の財産として後世に伝承し、将来のまちづくりに役立てるため、新たな岡谷市史の発刊に向けた市史編さん事業を推進します。

岡谷市学びの紡ぎ応援プラン基本目標

様々な学びの形づくり 誰もが学び合える地域づくり 未来につなぐ学びづくり

令和7年度岡谷市教育委員会 生涯学習の重点項目

- ・移住者を対象とした「知る暮（シルク）らしおかや」講座の実施
- ・子どもたちの主体性や協調性を育むための活動機会の提供
- ・子どもたちがあらゆる場所で読書に親しむ機会を得られるための環境整備
- ・優れた芸術、文化作品に触れることのできる特別企画展等の開催
日達れんげ展、辰野登恵子展
- ・新たな市史の編さんに向けた取り組み
編さん委員会の運営、資料収集・整理・デジタル化、調査研究等の実施